



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>

第22号（平成20年5月）



花散って 砂磨きたる 波飽かず

私塾ネット 副理事長 梶原 賢治

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 石川 維雪
〒156-0072 東京都世田谷区祖師谷5-32-31 学燈塾内
TEL:03-6680-6542 FAX:03-6368-5489
Mail:ibuki_i@nifty.com

理事長 鈴木 正之
03-5743-7458
広報部長 大住 明敬
048 - 957-8608

全国塾長・職員研修大会開催される

4月27日(日)、東京「アルカディア市ヶ谷」を会場に私塾ネット全国塾長・職員研修大会が開催されました。第一部研修会及び二部懇親会の出席者は、会員塾88名、他団体および一般私塾関係者25名、学校・企業関係者35名の計148名を数えました。テーマは「学ぶ幸せを考える」「世界教育考～チベットに教育を&フィンランドの学力～」でした。メインの講演者はチベット声楽家のバイマーヤンジンさん。昨年10月の「塾のの日フェスティバル」(全国学習塾協会主催)に続く再演ですが、おりから勃発したチベット人権問題もあいまって感動の講演となりました。以下研修会の概要をLAPIS鎌ヶ谷の松岡さんのレポートです。

プロローグ「世界教育考 パート1」

谷村志厚私塾ネットセンター理事長による開会の辞に続き、東京都板橋区のナカジユクで作成された感動ビデオの上映が行われました。元サッカー日本代表のロベス選手が様々な困難に遭いながらも、プロのサッカー選手になるという夢を諦めず頑張った結果、日本でプロの選手になれたという内容でした。「夢をあきらめない気持ちが幸運を呼ぶ」という素晴らしいフレーズに会場にいた方は皆感動していました。ナカジユクでは生徒にも保護者の方にも大変好評で、落ちこんでいる生徒に見せたら元気を取り戻したという実例もあるそうです。

「フィンランドの教育」

さいたま市立三橋小学校 教諭 新藤光代先生

次にさいたま市立三橋小の新道光代先生がフィンランドの教育について実際に現地で勉強してきたことを話してくださいました。

フィンランドはPISAにより日本でも注目されている国です。私は英語教育を視察するために、一昨年の夏にフィンランドに行きました。フィンランドでは30人学級が原則ですが、実際には13から23人編成のクラスがほとんどで、30人定員を厳守する小学校はありません。定員は小学校現場にかなりの部分が任されており、日本の文部科学省主導の教育管理制度と大きな違いを感じます。また、少人数学級が実現されていますので生徒管理的な職員会議はほとんどなく、職員室はカフェのような雰囲気です。

そして授業になかなかついていけない子に対しては、必ず支援員がつくようになっていきます。また特殊



フィンランドの教育の現場報告をされた新藤先生。公立学校の先生に講演をいただくのも、時代の流れを実感する。

開催プログラム

第一部 研修会	午後2:00~5:10
ご挨拶 私塾ネットセンター理事長 谷村志厚	
プロローグ	午後2:10~3:00
『世界教育考 パート1』	
モチベーションアップ 感動ビデオ 紹介	
東京都・板橋区ナカジユク代表 仲野十和田先生	
「あきらめない」	
フィンランドの教育	
さいたま市立 三橋小学校教諭 新藤光代先生	
「フィンランドの英語教育 見聞録」	
エピソード	午後3:20~5:10
『世界教育考 パート2』	
学ぶ幸せを考える。チベットに教育を!	
チベット声楽家 バイマーヤンジンさん	
エピローグ	午後5:10~5:20
第一部閉会式	
第一部をふり返って 私塾ネット北海道代表 入江昌徳	
お礼 私塾ネットセンター会長 山口恭弘	
第二部 私塾・私学・教育企業懇親会	午後5:30~7:30

学級は7人程度のクラス編成になっています。これがフィンランドではちょっとした躓きのある子に対しての復習・補習の場ともなっており、その受け入れには非常に柔軟に対応しているそうです。フィンランドには平等と柔軟という教育的理念があり、ドロップアウトする子を救うということが教育的平等であるというわけです。

また教員は全員が大学院修了者で指導力が高く、小学校から高等学校までの専攻教科にはいつでも対応できます。処遇面でも厚遇されており10年勤務で1年の休暇が、その後5年勤務するごとに1年の休暇を



取得できます。教員はこの休暇を利用して教育的スキルアップに努めることができます。休暇中も給与は70%程度保証されているようです。

名調子で研修会を進行する田中研修部長

エピソード「世界教育考 パート2」

「学ぶ幸せを考える。チベットに教育を！」

チベット音楽家 バイマー・ヤンジンさん

続いてチベットの音楽家バイマー・ヤンジンさんの講演が行われました。ヤンジンさんは中国国立四川音楽大学で西洋オペラを学ばれ、現在は大阪に在住され音楽家として活動されています。



チベットという土地についてまず説明したいと思います。チベットは放牧などをして暮らしをしている人が多く、あまり教育に関心がない土地柄です。私の家では母が教育を重視していたので、幸いにも私は大学に行くことができました。大学ではチベット出身ということでずいぶん差別されましたが、持ち前の負けん気で必死に頑張りました。そのため卒業生の中ではただ1人、大学の講師として残してもらえました。卒業コンサートで今の主人と知り合い、主人からチベットの美しさを初めて認められて感激しました。その時、私は人と人・国と国・文化と文化のコミュニケーションには、相互を認め合い何よりもその人格を認め合うことが大切であることに気づきました。そして主人の暮らす日本とはどんな国か、初めて興味を持ちました。

結婚して来日する前に、TV番組の「おしん」を見て非常に不安になりましたが(笑)、主人は優しく否定してくれました。日本に初めて来たときは様々なカルチャーショックを受け、なぜ日本は資源もなく、国土も広くはないのに豊かになったのかと考えましたが、教育に力をいれたからだと思うようになりました。

日本での生活は恵まれた生活で、母国に暮らす家族に対してこうした幸せを独占していることに「自分だけが…」と申し訳なく思ったものです。古着などの仕送りを通じて、そうした気持ちが和らいでいきましたが、この時から私にも何か役割が与えられているのではないかと、親や家族、チベットの人達のために何かができるのではないかと考えるようになりました。

それから節約に努め、ためた資金でチベットに180名程度収容可能な小学校をつくりました。現在では約10校の学校があります。生徒たちは学校では明るいうちに勉強して、日が落ちたら寮にもどり、寮の中ではろうそくを使って勉強します。学校では小学校から中国語、英語、チベット語を学び、子供たちは語学習得にかなりの労力を強いられています。これは改善する必要があるのではないかと考えています。

今のチベットは100年前の日本と同じ状況です。私は100年後のチベットを思い、これからも身を粉にしてチベットの教育につくしていきたいと思っています。



ヤンジンさんの講演に聞き入る聴衆。笑いとお話を交えたお話しに、感動は遠く深く広がった。

最後にヤンジンさんはチベットの歌「高くそびえる雪の山」と日本の歌「ふるさと」をすばらしい歌声で歌ってくださいました。「高くそびえる雪の山」はチベットの大自然が連想できる素晴らしい歌でした。その後閉会式がおこなわれ、私塾ネット北海道代表の入江昌徳先生と、私塾ネットセンター会長の山口恭弘先生のご挨拶で第一部研修会は閉会となりました。



講演後も感激した聴衆との交流が続いた。右から二人目がヤンジンさん。おとなり正面の男性はご主人の齋藤さん。

平成20年度第一回代表者会議開催される 役員改選で新理事長に鈴木正之氏（前関東代表）就任

4月27日（日）午後1時より、アルカディア市谷（私学会館）にて、「平成20年度第1回代表者会議」が開催されました。

出席者は、山口、安藤、谷村、入江、関、松本、湯口、佐藤、梶原、鈴木、畑山、仲野、寺嶋、近藤、田村、長江、監物、大住、渡辺、石川（敬称略）でした。

会は、センター事務局長の仲野先生の司会で始まり、出席者と委任状により会が成立する旨の報告が行われた後、谷村理事長の挨拶を経て、議事が始まりました。議案は、以下の通りでした。

- 第1号議案 平成19年度センター事業報告
- 第2号議案 平成19年度センター決算報告
- 第3号議案 役員改選
- 第4号議案 平成20年度センター事業計画
- 第5号議案 平成20年度センター予算
- 第6号議案 規約改正
- 第7号議案 その他の議案

第1号、第2号議案が仲野事務局長、石川会計部長から報告され承認を得た後、役員改選に移り、新たに理事長に鈴木正之先生、事務局長に石川が選出され、その時点から司会は石川、議長は鈴木に変更となり、以降の議事が進みました。

第6号議案の規約改正では、会計部長の任期を「1期2年、2期4年までとし、例外としてもう1期」とする事務局長の任期と同じくする案が可決されました。また「事務局長と会計部長の兼任はこれを禁ずる」との文言を加筆することとしました。

その他の議案では、名誉会長に山口先生、会長に谷村先生が就任することが承認されました。

さらに、今年10月に実施される社団法人全国学習塾協会の20周年記念式典での功労者表彰の候補者に、私塾ネットとして安藤進理先生、平林治先生、佐藤勇治先生の三氏を推挙することが承認されました。

報告：私塾ネットセンター新事務局長 石川維雪



右から松本中部代表、湯口副理事長、山口名誉会長、入江北海道代表

右から石川、鈴木、谷村、仲野の新旧理事長と事務局長執行部



新理事長就任挨拶

鈴木正之



4月27日の代表者会議で理事長となりました鈴木正之です。自分なりに精一杯務める所存です。よろしくお願い致します。

3団体が1つとなり私塾ネットが誕生して今年で8年目を迎えます。新たに入会する方もあり、私塾ネットは今や学習塾任意団体で一番の大所帯となりました。他団体や地域で活躍される会員も多く、首都圏の各種イベントにも私塾ネットの会員の方々が積極的に参加されています。山口先生、谷村先生の偉大さを感じずにはられません。

学習塾業界の中で私塾ネットの位置づけを考えますと、我々私塾ネットが日本の学習塾業界、教育界で重要な位置にいると考えられます。学習塾も大手から中小まで様々です。その学習塾が同じ方向を向くことが出来れば自ずと教育は変わっていくはずで、今こそ学習塾を含め教育に携わる全ての機関が一つとなって、日本の教育を構築していかねばならないと考えます。もちろん、自塾のことで精一杯である会員塾もあります。「無くなって良い塾はない」を肝に銘じ活動していきたいと思えます。

私塾ネットとしてできることは、まず次の4つと考えます。

学習塾業界の再編

会員塾の成長（私塾ネットの組織の改善と会員塾への積極的な提案をしていきたい。）

行政へのはたらきかけ

賛助会員との連携（私塾ネットが主催するイベントにみなさんどんどん参加していただきたい。たくさん話をして互いに刺激し合えればと思います。）

私塾ネットは「みんなのためになること」を実行できる団体であると考えます。私利私欲のためではなく、互いを尊重し、互いに感謝し、共に伸びていくことができる会員の関係が私塾ネットにはあると思えます。

新事務局長就任挨拶

石川維雪



この度、4月27日の代表者会議で事務局長に任命されました学燈塾の石川でございます。長年、塾団体の役職を務めてまいりましたが、事務局長というのは初めての経験でございます。不慣れなためご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、皆様のご協力をいただきながら頑張ってお礼申し上げます。

理事長を支えてまいりたいと思えます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

さて、私塾ネットセンターは、外部に対する「私塾ネットの顔」とであると同時に、各エリアの横断的な活動を支える役割を担っています。私は後段の役割を拡げて行きたいと思っております。

まず、各エリアの活動に理事長とともに積極的に参加して各エリアの意見を広く伺い、私塾ネットの活動に役立ててまいりたいと思います。

またインターネットを利用した会員間の情報交流なども、構築を再開したいと思います。具体的には、情報発信のツールを今一度見直して、事務局発の情報を、ホームページ、メール配信、FAXなどの手段でなるべく回数多く発信するようにしたいと思います。

お蔭様で私塾ネットはこの塾に厳しい環境の中、少しずつではありますが発展しております。この状況は「なんとなくそうだった」のではなく、過去に活躍なされた諸先輩方の財産によるものであると思います。この貴重な財産を守ってまいりたいと決意しております。

なお、新しい事務局は以下の通りとなります。

【私塾ネットセンター事務局】

〒157-0072

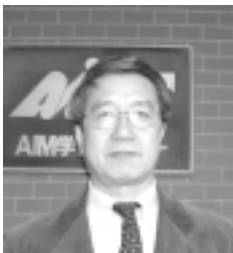
東京都世田谷区祖師谷5-32-31

TEL 03-6680-6542

FAX 03-6368-5489

理事長退任にあたって

谷村志厚



このたびの代表者会議のご承認を得て、理事長職を退任し新たに会長に就任しました谷村です。理事長在任中にご理解とご協力をいただき有難うございました。

私塾ネット合同から8年、初代理事長山口先生の後をうけての大任でしたが、何とか責任の二期四年を

まっとうでき胸をなでおろしています。この間新たなお仲間をお迎えすることができました。ことに関東エリアでは、元気のいい中堅どこの新会員塾を加え、質量ともに発展する任意団体とのご評価をいただいています。

しかしながら、この8年の間に学習塾をとりまく環境は大きく変化をみせています。公教育のあり方の変容にともない、私塾の社会的な役割にも変化をもたらしつつあります。杉並区和田中で象徴される学校と塾との関係、格差社会の拡大と二極化のすすむ教育産業としての塾の形態等、時代の要請にそった変化が、今、塾に求められています。

中小私塾で構成される任意団体にとって、その舵取りには時代を読み変化を先取りする、進取の気風が求められます。「新しいお酒には新しい皮袋を」の言葉もあります。私塾ネットが今回の役員改正で執行部がさらに若返り、より柔軟で積極的な活動が推進されることを期待します。今後は会長職として、鈴木理事長以下の皆さんの足手まといとならぬよう、与えられた職責をまっとうしたいと存じます。今後ともよろしくお願ひします。

2008年、皆さんお元気ですか

名誉会長 山口恭弘



先日、関西私塾教育連盟（関私連）が今年45周年になるとのお話がありました。計算すると昭和38年になります。私にとって忘れる事のできない年なのです。

学生時代の延長で中学受験生を教えていました。あるとき、保護者（父親・病院の院長）が私に塾でもしたら

と言われましたが塾の意味がわからなくて、帰って辞書を調べました。私の周りで、当時は塾という言葉は使われていなかったのです。相談する人もなく、困る事がありました。昭和38年、その当時リコーが開発した音を使った教育機器があり、それを使うかどうかで、リコーから使用している人を紹介するという話で上京しました。東京の先生と話をしているうちに悩み事が解決しました。塾をするように言われ、この東京行きで塾の仕事に全力を集中する事を決意しました。

紹介された人が浅沼先生です。誘われた全塾連入会をOKしました。全塾連を核として関私連を始めとする他団体の先生達と知り合う事が出来たことが、私の心のおおきな支えになりました。先生方に感謝しています。


私の45年を振り返り長いようで短いとも思えます。色々な変わり目がありました。今が一番塾の経営に影響がありそうです。全塾連の歴史7巻にあります、本田先生の「戦後の学習塾の歴史の出来事」を引用させていただきます。お許しください。


- 1、学習塾の誕生（創世期）昭和20年～39年
私にとっては昭和50年ぐらいまで、人から何の仕事をしているときかれ、恥かしくて塾といえず、自営業と答えていました。当時の塾の立場を創造してください。
- 2、学習塾の成長（生育期）昭和40年～59年
- 3、学習塾の充実（変容期）昭和50年～平成12年
今現存する塾のうち昭和46年からの塾が86%、10年前は57%。この資料は昭和12年で8年前です。


この10年、大きな変化の時代になっています。塾業界だけでなく日本の社会全部に言えるかもしれません。数年前からホテル、喫茶店等の経営者が代わっているのに驚きました。塾は例外ではないと思います。広島も同じです。塾業界内部からの意見ですが、今まで良いと言われたものが効かなくなった、例として「口込み」が効かなくなったと言う話もでました。3年前、聞いた話ですが、池袋の食堂を指差し「口コミが効かない」だから客がこない、塾も気をつけると言われましたが、皆さんはどう思われますか。今は口コミでなくチラシで人を集める時代だ、との意見です。私はチラシをまきませんでした。でも今ならまきます。でも文面とまき方は考えます。今年のチラシを見まして、今までなかったチラシがあることと大学の合格者を全面に出しているのが目に付きました。

これからなにをするか迷っています。長年にわたり助けていただき有難うございました。色々悩んでいます。皆さんの顔が浅沼先生に見えます。今後ともよろしくお願ひします。

新入会員紹介 ようこそ私塾ネットへ

ふりがな	しゅうがくしゃ			ふりがな	たまきくにお	
塾名	修学舎			代表者	玉城 邦夫	
住所	〒275-001 習志野市東習志野4-14-13			T E L	047-479-1795	
				F A X	047-493-4954	
指導形態	一斉と個別	指導学年	小5～高3	U R L	Www://k-shugakusha.com	
				Eメール	kinio_t@amber.plata.or.jp	
メッセージ&PR				<p>4年間にわたる塾講師を経て、昭和56年3月に修学舎を設立しました。12年程前に神奈川県海老名にある塾で教室長をしていた兄が加わり、兄弟で大半の授業を担当しています。昨年6月に塾舎を新築しました。許されるなら白寿までの35年間で、塾生達と一期一会を大切に日々努力していきたいと思っています。よろしくご指導下さい。</p>		

ふりがな	はちがくじゅく			ふりがな	おおしだ けんいち	
塾名	八学塾			代表者	大志田 賢一	
住所	〒028-7111 岩手県八幡平市大更24-22-5-B			T E L	0195-76-5561	
				F A X	0195-76-5561	
指導形態	個別指導	指導学年	小学1年生～ 中学3年生	U R L	http://hachigaku.com/	
				Eメール	info@hachigaku.com	
メッセージ&PR				<p>「八学塾」では、習熟度別個別指導をとおして、自ら学ぶ「自主的学習スタイル」を身につけ、学力意欲の向上を図ることを最重要課題と捉え、保護者の皆様と連携を図りながら、前向きに取り組めます。</p>		

ふりがな	(こうどう)			ふりがな	みやわき のぶお	
塾名	パロス個別指導学院 小金井校(旧 弘道学習塾)			代表者	宮脇 伸夫	
住所	〒184-0015 東京都小金井市貫井北町2-16-12-101			T E L	042-386-2732	
				F A X	042-386-2732	
指導形態	個別指導	指導学年	年長～高校	U R L	http://members3.jcom.home.ne.jp/palos/	
				Eメール	palos@jcom.home.ne.jp	
メッセージ&PR				<p>平成元年創立、今年で20周年を迎えます。少子化・不景気もありますが、経営力・営業力がなく衰退の一途をたどっておりませんでした。そんな折パロスの話を聞きAJCに加盟。鈴木先生や長江先生にご親切に接して頂き、私塾ネットへ入会させて頂きました。皆様には諸事において宜しくお導き頂きたく、伏してお願い申し上げますと共に、不肖にできることがありましたら、ご遠慮なくお申し付け下さいませ。</p>		



ニュージーランド旅行記

私塾ネット 顧問

平林 治

去年はドイツについて旅行記を書きましたが今年はニュージーランドの旅行記を書いてみたいと思います。なぜここかと申しますと世界遺産である上の写真の所へどうしても行きたいと思ったからです。

先ずこの国の事を少々書いてみたいと思います。次の説明はウィキペディアの引用です。

「ニュージーランドの面積は、268,680km²である。総人口は、約418万人、人口密度(km²当り)約15人である。ニュージーランドは、北島と南島の2つの主要な島と多くの小さな島々で構成される。北海道と本州の形に似ている様である。北島と南島の間には、クック海峡がある。

北島(ノースアイランド)には、首都であるウェリントンがあり、政府機関および行政機関が集中している。また、同国最大の都市であるオークランドは、商業および経済の中心地となっている。オークランドは、オークランド市、マヌカウ市、ワイタケレ市、ノースショア市の4市によって構成されている。オークランドの年間降水日は100日以上で、雨の多い街である。近くの観光名所として、温泉地として有名なロトルア、タウポ、ワイトモ鍾乳洞の土蝨などが有名である。北島は、南島ほど険しい山脈はないが、火山活動が活発である。最高峰は、2,797mのルアペフ山で、活火山である。

南島(サウスアイランド)は、最も陸地面積の大きな島で、中心都市はクライストチャーチ。島の中央には「南半球のアルプス山脈」と呼ばれる南アルプス山脈がそびえる。最高峰は、3,754mのクック山(マオリ語ではアオラキ、「雲を貫く」という意味)で、その他に3,000m以上の峯が18ある。他にもタスマン氷河、サザンアルプス、クック山、ミルフォード・サウンドのような豊かな自然も有名である。クイーンズタウンは世界的に有名な観光・保養地である。温泉地も各地に点在する。」

教育制度は日本と同じで小学校は1年から6年までですが入学は子供の5歳の誕生日で1年生から2年生まではカリキュラムがなく、本人の自由に任せているところが日本と違うところです。そこで日本人のお母さんたちは日本からドリルを取り寄せて子

供たちに勉強を教えているそうです。

高校での卒業は16歳で、16歳から18歳までの間に全国共通の試験を受けて大学に進学するか専門学校に行くかを決めるそうです。

国の説明はこれまでにしてそろそろ上の写真の紀行文を書こうと思います。

クイーンズタウンを午前6時に出発。まだ辺りは真っ暗、一路バスでミルフォードサウンドに向かう。途中1回トイレ休憩。ひた走りに走り9時頃に国立公園に入る。周りは鬱蒼としたブナの原生林が茂る道路を走る。途中ミラーレイクで下車し散策。空には虹がかかっているととても素晴らしい光景であった。ミルフォードサウンドのクルーズの出発は11時なのでそれに間に合うようにまたまた走る。途中で霧が発生し辺りの景色が全く見えなくなる。私たちは一番の見所であるミルフォードサウンドが雨だったらどうしようと不安に駆られる。何故ならミルフォード・サウンドは観光客に傘を要求するほどの降水量の多い地域であるからである。バスは前照灯で前を確認しながら走り10時45分頃に船着場に到着。その頃にはすっかり空も晴れ前に広がる写真のような景色が広がる。船は1時間40分かけてクルーズに出発フィヨルドの中の海水は見事なまでの色で周りは切り立った山々。氷河によって削り取られた岩肌がそびえるように立ちはだかり、私たちに迫って来る。その岩肌からは落差百数十メートルの滝が何本も流れ落ちてくる景観は我々を圧倒する。船は約50分程でタスマン海に到着、その向かい約1800kmでオーストラリアである。ここで船は反転し船着場に戻る。すると今度は今来た反対側の山肌が迫って来る。小さな海面に突き出た岩には体長約1mのオットセイが昼寝をしているのが見えてくる。説明によると夜行性なので昼は寝ていて夜、海中に潜りイセエビやアワビなどを食べているらしい。なんとも羨ましい限りである。そうこうしているうちに船着き場に到着。そこで帰路に就く。途中小さな山火事に会いバスは立ち往生。火事を消すためにヘリコプターが2機、下にドラム缶の様なものをぶら下げ、湖の水を汲み上げてそれで消火している。しかし数十分後には片側一車線で道路は開通し無事にホテルに到着。素晴らしい景色に感動して。一日は終わった。(写真はウィキペディアより転載)

全国研修大会・第一部懇親会



第一部研修会に引き続き、隣の宴会場に場所を移し第二部「私塾・私学・教育企業懇親会」が開かれました。出席者は他団体の来賓を含め私塾約70名、私学30名、企業10名の計約110名でした。懇親会は鈴木新理事長の就任報告を兼ねた挨拶から始まりました。ご来賓のスピーチは東京都私立中学高等学校協会近藤彰郎会長と全国学習塾協会伊藤政倫会長のお二方。私学と私塾のそれぞれの立場で、昨今の教育を取り巻く諸問題について、力強い意見表明が続きました。乾杯は湯口兼司副理事長の発声で懇親に入り、出席者の皆さんは和気藹々とした懇談のひとときを楽しまれました。



鈴木理事長を挟んで左に谷村会長と右に長江副理事長。永年の飲み友達である三氏、今後は肝臓をいたわってご協力を。

左 乾杯の発声は湯口副会長。湯口さん実は下戸、そこでオレンジジュースで乾杯!!なんと健康的なことか。

新任の挨拶と出席者への謝辞に立つ鈴木理事長。理事長としての初仕事のため、いづらか緊張気味だが勇壮に吼え、理念を訴えた。

右 中締め挨拶に立つ畑山エリア東北代表。簡潔明朗なスピーチと一本締めでみごとピシャリと締めた。





仲野代表がエリア関東の役員を紹介。若き代表の熱意が漲る。



挨拶に立つエリア四国寺嶋代表と四国からの出席会員。右から湯口、寺嶋、近藤、山田、田村さん。



石川事務局長から新執行部の紹介。左から湯口副会長、山口名誉会長、谷村会長、鈴木理事長、長江副理事長、梶原副理事長。マイクを持つのが石川事務局長。

こんなすてきなカップルが・・・実は徳島から来られた近藤さんと東京在住のお嬢さんの佐由里さんのツーショットです。



盛り上がった六本木の夜

二次会・慰労会は西麻布「エンディ」を借切って盛大に行なわれた。出席者38名で完全に定員オーバー。「エンディ」はかつてピンキーとキラーズで日本を席卷したギタリスト、エンディ山口さんのお店。懐かしいオールディーズの名曲を専属ガールズが熱唱。同世代のオヤジどもは久しぶりに熱く燃えた。これは、いつも各地でお世話をいただいているお返しを、と田中研修部長と仲野事務局長の会心の企画だ。

会の進行役はいつもの菅谷さん。エレガントな振る舞いとアナウンスで会をスマートに取り仕切る。



ご機嫌の石川さんと四国のメンバー、左より田村、山田、寺嶋さん

エリア関東新年研修会より

「人が集まる塾舎とは」勝ち残れる塾へ！(2)

企画部 菅谷友豊

(前号7ページから続く)

これまで、学習塾として店構えの基本的考え方を述べて参りました。そんな私が今最も気にかけているのが「風水」です。風水といいましても、大きな枠で簡単にいえば、空気の循環ができる清掃の行き届いた環境づくりです。私の教室にお越しいただいた方はもう既にお解りの通り、至る所にグリーンが置いてあります。このグリーン、実は風水の一つです。緑による空気の清浄化、そして情緒の安定といった相乗効果を狙っています。これまで述べたことも環境づくりの点では、この風水と全く同じ次元のお話をさせていただいただけにすぎません。いかに居心地の良い空間を提供するか。それが如何に生徒募集に繋がり、塾の経営に必要な不可欠であるか、ということをご様に解っていただきたいのです。例えば風水では、自習室の机は北か東に向けて配置すると良いと言われています。これは集中力という点で考えた時、大体は北側に窓が少なく壁のみで気が散らないということが理由になっています。又、ラッキーゾーンといわれる玄関(教室入り口)から教室の中心に向けて引ける一直線上は、常にすっきりと片付けて置き、誰でも歩きやすいようにしておきます。これも、玄関からそつと中を垣間見た時、最も目立つラインですから、ダンボールやゴミ箱があると美しくありません。片付けていなければ、当然最初に雑多なイメージが沸きます。入会決定権を持つ母親としては、これでは安心して子供は預けられないということになりかねませんね。このように、風水での良し悪しは全て裏づけがあります。これまでずっと良い環境を目指してきたことが不思議と風水の理に叶っていたというのが、私が風水を研究するきっかけになったという訳です。昨年、仲野十和田先生の塾舎訪問後、様々な方から相談に乗って欲しいといわれています。しかし、皆様お一人お一人現状が違いますので、夫々の状況をお伺いせずに判断することは出来ません。実際に塾舎へ出向き、直接詳しい事情をお伺いして、お答えさせていただきたいと思っております。それでも全ての塾舎にお伺いする時間も残念ながらありません。そこで塾長、教室長の皆様が今日からでも直ぐにできる自塾改革のチェックポイントをお教えしたいと思います。是非とも実践してみてください。

まず始めにさせていただきたいことです。皆様の塾舎を、初めて訪れた場所のつもりになって、外から眺めてみましょう。私は車で通勤していますが、塾舎に着いたら必ずすることがあります。時には車から降りるのは30分も1時間もかかる場合もあり、職員が心配して迎えに来ることもしばしばです。そうです。私は自塾を見学、つまりウィンドーショッピングをしているのです。外からはどんな塾に見えるだろうか。ゴミは散らかっていないか。ポスターは曲がって貼られていないか。中はどのように見えているのだろうか。入りやすい環境かどうか。子供を通わせるのに安心できる雰囲気かどうか。自分の子供を実際に通わせる学校選びの目で、自塾を眺めて見ているのです。次に塾生が来てから帰るまでの通路をゆっくり周囲を見回しながら中へ歩いて入ります。目に入るもの全てをチェック、チェック、チェック。単純にこれをするだけで、今日やらなくてはならないことが明確に解つ

てきます。なんだ、そんなこと・・・とお思いですか？でも、私達は必ずといっていいほど、今日の授業の方が大切であると、これらのことから逃げてはいませんか。塾舎に入ったら、教材づくりにとにかかってはいませんか？塾経営改革で最も大切なのは、始めに自塾の売りを再確認すること、そこから自塾のターゲット客層を決めること、日々の様々な業務を再確認すること、この三点なのです。当たり前のように、それでも現在、できていないことにしっかりと目を向ければ良いのです。皆様は、自塾の玄関前を毎朝必ず掃いていますか。では、窓ガラスを拭いたのはいつですか。書棚の整理をしたのは・・・。トイレは明るく清潔ですか。初めてそこへ足を踏み入れた者として眺めてください。入塾までの手順マニュアルはありますか。自塾の生徒以外でも入りやすいキャッチコピーを外へ向けて掲げていますか。でも決して無理をすることはありません。あなたが心地よいという環境を整備すれば、ターゲットにしている方からも心地よいと思われるはずで。要は、どの塾舎もまだまだ伸びる土壌があることをお伝えしたいだけなのです。そのポイントは、清掃と整理整頓が行き届いた店こそが、本当に客のことを考えている店であるということ。そして、どの塾も開塾当所はそうした「おもてなしの心」を第一に考えていたはず、それが今では・・・。定期業務の中で、子ども達のことを本気で考えた教室の環境づくりは上から何番目に置かれているのでしょうか？そして、是非一度、奥様やお嬢様に聞いてみてください。自塾の環境が、女性の目から見て入りたいと思わせる環境になっているかどうか、対価を払ってでも入れたいと思う対応ができていくかどうか・・・を。ちなみに、私の塾のことで大変恐縮ですが、入会するまでには数ヶ月お待ちいただかなければなりません。その理由は、退塾者0をキープしていることに起因しています。塾生が心地よい環境を作るために定員制を設け、定員になってしまうと退塾者がでない限り入会はお断りしています。しかし、退塾者は出ない・・・。ですから入会希望者は卒業生が出る次年度まで予約していただき、お待ちいただくといったパターンです。では、他塾との差別化ポイントは・・・?ということこれまで述べた通りです。まとめてみますと、

塾舎の清掃と整理整頓

居心地の良いレイアウトと掲示

自習室と書籍コーナーの充実

子供達が学習しやすい環境と雰囲気づくり

入会への手順、定期業務のマニュアル作成と実行

いつでも、子供の求めている今、何をしたいのか

今、何に困っているのかをキャッチして、すばやく対処、提案し、それらを提供する等、この他にもまだまだポイントは沢山あります。看板、転送電話、留守電の吹き込み、教室レイアウトの再考、チラシのキャッチコピー、数えたらやらねばならないこともキリがありません。でも、私達は屋台の塾ではありません。出張、出前で授業を販売しているのではなく、店を構えて営業しているのです。店を持った前のようにやるべき清掃や環境整備のための業務を行っていただき、その次にどんな商品を売るかを考えて欲しいのです。皆様の塾が更に発展されますことを心より願っております。最後に、皆様にお話できる機会を与えてくださった関東代表の鈴木正之先生に心よりお礼を申し上げ、講演を終了させていただきます。



私塾ネット四国

前代表 湯口兼司
新代表 寺嶋謙次

2008年3月湯口塾研修センターで開催された役員会で次のような四国エリアの新体制及び活動計画が決まりました。

新役員

四国エリア代表	寺嶋謙次	(学習院セミナー)
会計、事務局	山田明子	(山田塾)
研修	原田真一	(啓真館)
広報	小野昭	(小野塾)
ネット管理	川口順次	(育心館)
会計監査	楠山敬治	(楠山ゼミナール)
広報、会計補佐	田村純子	
相談役	山口恭弘、湯口兼司	
各県代表	徳島県	近藤誠介、松田俊治
	愛媛県	川原光明、十亀幸雄
	香川県	寺嶋謙次、山田明子

活動計画

その一

総会、研修会 5月18日(日)
(オークラホテル丸亀)

研修会 総決算「新年度募集をふりかえって」
研修会 「丸亀親不孝通りを散策」1キロほどの間に15塾ほどあります。丸亀駅から丸亀城まで、途中中間の塾(東進衛星予備校丸亀駅前校、本部など)を見学、研修します。

その二

秋の研修会 9月14日(日)
(松山、ホテル古涌園)



私塾ネット四国役員会での記念写真。前列右端に湯口前代表、右から3人目は山口名誉会長、その後ろが寺嶋謙次新代表。

愛塾連「創立20周年記念大会」に協賛参加いたします。

旧全塾連の時代から私塾ネットへと長い間お世話になりました。これからも寺嶋新体制に四国のみんなで協力し合い、盛り立てて今まで以上の素晴らしい会にしていく所存です。

ご協力の程心よりお願いいたします。

私塾ネット関東

代表 仲野十和田



4/27のエリア関東会員総会にて、代表に選ばれました仲野十和田です。大先輩の谷村志厚先生、鈴木正之先生のあとということで、大変なプレッシャーを感じていますが、今は、お二人が築いてくれた、チームワークの良い私塾ネットに更なる磨き

がかけられればと思っております。また、諸先輩の先生方からの学びを受け継ぐ一方で、次世代に塾業界で活躍していく人たちと共に考え、共に成長する機会もエリアを越えて持っていきたいと考えています。

さて、国の教育政策にはいささか疑問をお持ちの方も多と思います。長い目で見ると、教育力が国力に如何に必要なかは、誰もがわかることですが、どちらかという国としての方向性は、「結果の出せないものに財政を使いたくない」という動きを感じます。となると、私教育にそれを任せていく風潮が益々強くなっていくのではないのでしょうか。今現在、賛助会員の学校をはじめとし、日ごろより私学の先生方とは信頼関係を結ばせていただいておりますが、更に連携を強くし、お互いの経営、教育内容の情報交換を行うなどして、日本の教育界をリードしていけたらと思います。

生徒たちにとって、学校や塾の教師はおそらく身近に接する最初の社会人です。その社会人が誇りと輝きを持って生徒と接することで、彼ら彼女らの将来感にも影響してくるのではないのでしょうか。

つきましては、関東から全国へ「元気」を発信するつもりで頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

私塾ネット北海道

代表 入江昌徳

エリアとしての活動がイマイチなもので、この間の北海道の塾状況を少々。一昨年、かの秀英予備校が上陸し、大騒ぎとなった北海道でした。結果として言うならば、確かに秀英は札幌で2番手、全道で3番手規模に落ち着いたようです。トップが進学会であることは言うまでもありません。



ではその結果何が起きたか…。結果として中小塾には何の変化も無いの

です(秀英に食われなかったところは...ですが)。一部の中堅塾(北海道基準ですからたいしたことはありませんが)が生徒を減らしそれが秀英に移動しただけでした。あれだけ派手な宣伝合戦を繰り広げたにもかかわらず、新たな生徒の掘り起しにはなっていない。さらに、その動きはピークを超えて治まってしまった感があります。

つまり、いわゆる大手に凄味が全く無くなり、恐さも感じません。主戦場は中小同士の争いになってきているのではなからうか...そんな気がします。だからこそ、再び、謙虚に先達に学び工夫を凝らし、熱意を持って指導に当たる、ひとりの良い状態に回帰することで、必ずや生き残ることができる.....。そんな感じの昨今であります。

良い季節です、是非北海道にお立ち寄り下さい。

私塾ネット東北

代表 畑山篤

文部科学省から昨年秋に発表された「平成19年度全国学力・学習状況調査」の調査結果によると通塾率の全国平均は小学6年生で45.0%、中学3年生で59.2%である。都道府県別で通塾率上位にある奈良県は小6で53.9%が中3で71.6%、三重県が小6で52.9%が中3で69.7%である。中学受験が熱い!という報道は我々の地方でも耳にしますが、他の地域では少子化が叫ばれている昨今でも一学年の子どもが小6で約半分が塾に通い、中3では約7割になるということでしょうか。

日々学習現場に立つ身として、どうも実感とは違うぞと思ひながらこの調査発表を眺めていて愕然としました。実は小6で通塾率が3割未満の県が5つありました。秋田、青森、山形、岩手、宮崎。それが中3で秋田32.3%、青森30.8%、山形30.2%、岩手28.6%にしかならず、宮崎で39.8%です。

全国津々浦々に学習塾という形態で、学習する空間があります。しかし、中3生の7割が通う地

域と7割が通わない地域があり、特に後者は我々東北エリアの県です。1教場30坪程のスペースで小学生コース、中学生コース、高校生コース、通信制サポートコース等々少ない人手で多くのニーズに対応するまさに「小規模多機能」な学習塾が求められているのかもしれませんが。そのためにも我々塾経営者は言うまでもなく教務、事務、全てのスタッフの人間力の向上が必要かもしれません。

そこで、東北エリアでは昨年に引き続き、6月に「私塾情報交換会」の開催を、12月に「進学説明会」の開催を企画しております。期日が近づきましたら詳細をご案内させていただきます。全国の諸先輩方のご参加を楽しみに致しております。

私塾ネット中部

代表 松本 紀行



今年4月より、鈴木新理事長が誕生致しました。山口・谷村両先生方の偉業を継承し、若い力で敏腕を振るって頂けること、大変嬉しく思います。新理事長は、会員の声を真剣に聴いて組織を活性化していくことができる方だと、私なりに理解して居ります。

時代の流れは、新たな課題を私塾ネットに問いかけてきています。学習塾と学校の連携については、これからもどんどん加速されようとして居ります。長野県下でも学校側から協力要請が出始めており、対応を迫られているところです。和田中学の影響がそのまま伝わってきたような気がします。新理事長には、この問題の方向性を示して頂けたら、大変幸甚に思います。

さて、5月中旬は長野県高校入試統一テスト会の例会を皮切りに、本年度がスタートします。5月下旬には「湯けむりの会」で懇親を深める予定になっております。少人数で寂しいものですが、これ程贅沢な会も他にありません。

今後、微力ではありますが、新体制を中部エリアとして支援し、同じベクトルで応援してまいります。



五月の花 薔薇・バラ・ばら



私塾情報交換会の風景。正面向かって左が関志郎副理事長、右が畑山篤東北エリア代表。



偲ぶ

私塾ネット顧問

安藤 進理

木下公作先生 木下さん、公ちゃん。
許されることならもう一度お声をお聞かせ下さい。
二度と再び返事を頂けない程、遠くへ旅立ってしま
われました。残念の一言に尽きます。しかし、業界
の皆様方に彼の生きざまを知っていただきたく今、
ここに筆をとらせて頂きます。

木下先生は、昭和三年九月十九日、向島にお生ま
れで、正真正銘の江戸っ子でした。戦中の厳しい時
期に海軍特攻隊として、祖国防衛の為、日々過酷な
訓練をされ終戦を向かえられました。そんな時代を
生きられた人だからこそ、平和を愛し、誠の平和教
育を私塾に求めたのです。

塾業界では、全日本私塾協会（PTF）の常任理
事、また今日存在する社団法人全国学習塾協会の初
代理事を、そして顧問として貢献され、塾人とし
て、日々奮闘されていたお姿が、私には、つい昨日
のように想い出されます。私生活では、お子様三姉
妹に恵まれ、三人とも家庭を持ち、それぞれ独立し
て立派にご活躍しています。知る人ぞ知るではあり
ますが、親が子を思い子が親を思う、相互敬愛の家
庭であったことは、まさに教育者の鑑であり人生の
教科書であります。

思いかえせば、木下先生と初めてお会いしたの
は、昭和四十二年二月十五日、東京私塾会の定例会
の会場でした。世間での塾の存在は、日陰者扱いで
した。このような時に、木下公作先生との出会い
で、互いに励まし励まされ、義理、人情に厚く、正
義感、向上心にあふれる彼の存在感に心ふるわさ
れ、こんな仲間達と一緒にこの業界で船出をするこ
とができるのならと、私自身、私塾で生きる決心も
つきました。あれから四十一年間公私共に深い絆で
結ばれてきました。しかし、私塾ネット誕生間もな
く、あまり会にお顔をお見せにならなくなり、昨年
の六月頃不運にも病におかされてしまいました。一
時快方に向かわれましたが、ご家族の手厚い看護の
かいもなく、最期は安らかに昇天されました。今は
ただゆっくりとお休み下さい。

黄泉路の平穏をお祈り致しますとともに、木下先
生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。 合掌

各 部 報 告

渉 外 部 報 告

渉外部長 佐藤勇治

1 合同委員会開催

3月20日(祝)、全日本学習塾連絡会議 事務局長 佐藤勇治氏(私塾ネット渉外部長)が総合的な連絡役を務め、「社団、組合、NPO、任意団体」など学習塾団体が協力して1日で4つの委員会を開催するという、新しい形の合同委員会が、池袋の豊島区立勤労福祉会館第7会議室(大会議室)で行われました。

各団体の代表者、会長、理事長、専務理事、事務局長、担当役員等は、各団体の委員会のほか横断的な委員会が多くなるに従い、いくつもの委員を兼任するケースが出て参りました。

今回、時期的に重なった委員会を1日で効率よく運営するため、以下の4つの会合が時間を調整し、同一会場で開催されました。出席した委員の反応は非常に良く、合同委員会という新しい形が今後多くなると思われます。

なお、今回の合同委員会開催に当たっては、社団法人・全国学習塾協会 稲葉秀雄 専務理事から多大なるご協力を頂きました。

(1) 第10回 全日本学習塾連絡会議 世話人会

1、日 時：平成20年3月20日(祝) /
11：00 - 12：00

2、議 題：

各団体の行事予定について
平成20年度(2008)『私塾・私学・企業教育
ネット要覧』第8集 について
午後の会合の事前準備状況の報告と検討

(2) 第85回 全日本学習塾連絡会議

1、日 時：平成20年3月20日(祝) /
13：00 - 14：00

2、議 題：

平成20年度(2008)『私塾・私学・企業
教育ネット要覧』第8集 について
塾団体名簿(訂正、削除、追加)と行事
予定について
各団体の新年度行事予定のご案内
社団法人20周年記念行事、記念誌、協賛
広告について
その他

(3) 第2回 功労者選考部会(資格審査委員会)

1、日 時：平成20年3月20日(祝) /
14：15 - 15：15

2、議 題： 各団体功労者選考中間報告
・4月2日(水) 締切日
・4月8日(火) 第3回 功労者選定

3、委 員：[委員長] 楠山敬志

[事務局長] 稲葉秀雄、石川維雪、
磯 信康、岡田保雄、岡本清彦、
皆倉宣之、佐藤勇治、坂田義勝、

菅原明之、武田利幸、田中敏勝、
谷村志厚、玉城邦夫、内藤潤司、
西出一信、中島正志、野崎匡智、
平林一之、増田 敏、松田邦道

(4) 社団法人・全国学習塾協会 20周年記念大会
プロジェクトチーム委員会

1、日 時：平成20年3月20日(祝) /
15:30 - 16:30

(担当 / 岡田実行委員長、川畑支部長)

2、議 題： 20周年記念式典、研修会、交流
会について
20周年記念誌への協賛広告と概
要について
その他

2 片山学園高等学校の開校式に出席して

富山県初の中高一貫校となる学校法人 片山学園
高等学校の開校式と中学校・高等学校の合同入学式
が片山学園中学校体育館で挙行されました。

開校式では、富山県知事 石井隆一氏、富山市長
森 雅志氏、元法務大臣・衆議院議員 長勢甚遠氏
ら約850名が出席しました。片山浄見理事長は、開
校式の式辞で、「将来は、世界・日本のリーダーと
なって下さい」と一期生となる入学生に述べまし
た。

また、その後、行われた中学校・高等学校の合同
の入学式では、高等学校の新生を代表して豊田優
貴さんが「開校したばかりの学校で、歴史や伝統を
作り上げたい。中学で3年間を共にした仲間とこれ
からも過ごせることは幸せ」と宣誓しました。

今年度の片山学園中学1年生の新生は94人、高
校1年生は88人でした。高等学校では、3年後、「東
大20名・国立大学医学科20名合格」をマニフェス
トにかけ、英・数・理各週10時限、週当たり51時
限の授業を実施するという。

開校記念講演会は昭和女子大学学長(ベストセ
ラー「女性の品格」著者)坂東真理子先生、オペラ
鑑賞会は富山県出身でヨーロッパで活躍しているオ
ペラ歌手 澤武紀行氏が出演しました。また、午後6
時からは富山第一ホテルで、片山学園高等学校開校
記念祝賀会が行われ、約300名が出席しました。

3 第3回功労者選考部会(資格審査委員会)

(1) 日 時：平成20年4月8日(火) /
10:30 - 12:00

(2) 会 場：豊島区立勤労福祉会館「第6会議
室」

(3) 内 容：10月12日(日)「塾の日」式典で行わ
れる功労者表彰のメンバーが決定しました。

団体表彰・・・20団体を推薦

個人表彰・・・29名を推薦

感謝状進呈・・・5人を推薦

最終決定は、6月8日(日)の社団法人・全国
学習塾協会の総会で報告されます

4 埼玉県私塾協同組合 教材教具・情報展・
セミナー・懇親会

(1) 日 時：平成20年3月2日(日) / 午後2時20分 -
午後8時

(2) 会 場：大宮ソニックシティ603会議室 /
大宮ソニックホテル・アイリス

(3) 内 容： 大学全入時代の学校選択～ダイア
モンドフリースマン社副社長 深川敏雄 氏
大手塾のM&A、中学受験市場、人材の採
用と育成～中土井鉄信氏

(4) 学習塾M&Aカレンダー(マネジメント・ブ
レイン・アソシエイツ代表 中土井鉄信氏の
資料より)

年 月 M&A内容

2003/01 リソー教育、伸芽会を買収

2004/09 クリップコーポレーション、蛍雪ゼミ
ナルを買収

2005/02 仙台進学プラザ、思学舎を買収

2005/10 ナガセ、進級スクールを買収

2006/10 ベネッセコーポレーション、お茶の水ゼミ
ナルを買収

2006/12 学習研究社、あすなる学院を買収

2007/02 さなる、九大進学ゼミを買収

2007/03 学習研究社、タートルスタディスタッフを
買収

2007/04 早稲田アカデミー、野田クルゼを買収

2007/05 ベネッセコーポレーション、東京個別指導
学院を買収

2007/09 秀英予備校、東日本学院を買収

2007/11 学究社、進学舎の塾部門を買収

2007/11 ベネッセ、鉄緑会を買収

2007/12 名学館、稲門進学ゼミを買収

2007/12 学習研究社、ホットラインを買収

2007/12 学習研究社、秀文社を買収

2008/01 学究社が、ライバルである進学舎を買収

2008/02 市進とZ会グループが資本・業務提携



五月の花 シャクヤク

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 仲野十和田

早いもので、センター事務局を仰せつかって6年。間違いなく6歳は年をとったということ…。小学校に入学した私も中学1年生になりました。6年前、尊敬する前事務局長の佐藤勇治先生からバトンタッチすることになったときは、とても不安を感じたことを今でも覚えています。全国規模の団体なのに、関東以外の方々はほとんど知ることもなく、エリアの総会や、研修会に参加させていただいたときは、胸をバクバクさせたものです。

でも、どこに行っても皆さん、快く迎えてくださり、心が温まりました。エリア中国の定例会へ出席させていただいたときは、山口(当時理事長)先生の運転する車で、城先生の塾舎を見学させていただき、夜は河濱先生と宮島での語らいはとても印象的でした。翌日は北川先生のお話を伺い、「これが地方エリアの考えか」と、勉強をさせていただいたことを覚えています。エリア四国の研修会に参加した翌日は、湯口先生の先輩の店に連れて行っていただ

き、讃岐うどんの食べ方と美味さを知りました。エリア中部では、松本先生の研修センター(霧ヶ峰)で関東と合同研修。松本先生の塾に対する考え方に共鳴したものです。翌日はぶどう狩り。エリア東北では、畑山先生を取り巻くおかしな方々と、二晩飲み明かした(お酒はだめなのですが)ことは、めちゃくちゃ楽しい思い出です。エリア北海道では、入江先生の塾舎に訪問し、壁のない教室に感激したものです(実は、このスタイルを自塾に取り入れさせていただきました)。行きつけのおすし屋さんの味が忘れられません。

私の小学校時代は、他にもたくさんの素晴らしい師に巡り逢うことができ、自分の成績はとても悪かったのですが、皆様の助けをお借りして、なんとか卒業をさせていただくこととなりました。

仰げば尊し、我が師の恩～

すべての会員の皆様、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

閑話休題

編集委員 谷村志厚

当コラム「閑話休題」では、これまでは理事長の立場として、その時々々の雑感を掲載させていただいた。理事長を退任すると、広報編集のお役目がまわってきた。これまでは平林顧問が編集されたものを、最終的に当方でとりまとめ印刷・製本をする段取りであった。今後は編集委員の招集と原稿の依頼や催促は広報部長の大住さん、編集印刷作業は谷村が担当することになる。現在の広報のスタイルになって4年、この間欠落なく発行できたことに感謝し、編集にご苦労をされた平林顧問に改めてお礼を申し上げたい

◆理事長としての最後の仕事である恒例の全国塾長・職員研修大会も盛況のうち終了できほっとしている。準備にあたられた実行委員の皆さん、出席をされたすべての会員

の皆さんに感謝したい◆ヤンジンさんのご講演は大好評であった。昨年10月に講演をお聞きし、なんとか会員の皆さんと感激を共有したいと念じての企画であったが、皆さんに喜んでいただき、またまた感激をした。しかしながらチベット問題でいささかきな臭いこの時勢に、柔らかなも筋の通った発言をされたヤンジンさんに共感し、応援したいと思う。人権問題は究極の教育問題であると実感した◆5月13日、印刷直前になって、中国四川省の大地震のニュースが飛び込んできた。すでに死者が1万人を超えているとか。どこまで被害が拡大するのだろうか。震源地は成都北部の汶川県だという。この地区はヤンジンさんのご家族が住まわれている所ではなかったか。新たな心配の種が生じたようだ。(編集後記に代えて)

私塾ネットセンター 新役員・顧問一覧です。よろしくお願ひします。

名誉会長	山口 恭弘	エリア北海道代表	入江 昌徳	監事	千葉秀一
会長	谷村 志厚	エリア東北代表	畑山 篤	監事	木村正史
理事長	鈴木 正之	エリア関東代表	仲野 十和田	顧問	安藤 進理
副理事長	湯口 兼司	エリア中部代表	松本 紀行	研修部顧問	田中 敏勝
副理事長	関 志郎	エリア中国代表	北川 健治	広報部顧問	平林 治
副理事長	梶原 賢治	エリア四国代表	寺嶋謙次	ネット管理部顧問	碓 優
副理事長	長江 勝秋				
事務局長	石川 維雪	広報部長	大住明敬		
会計部長	監物 一男	ネット管理部部長	渡辺浩		
研修部長	田中宏道	エリア交流部長	菅谷友豊香		

賛助会員一覧(順不同)

関東国際高等学校	村山 ヲドラー先生
東京都渋谷区本町3-2-2	03-3376-2244
江戸川学園取手中学高等学校	竹澤 賢司先生
茨城県取手市西1-37-1	0297-74-8771
十文字中学高等学校	卯木 幸男先生
東京都豊島区北大塚1-10-33	03-3918-0511
東洋高等学校	野間 一夫先生
東京都千代田区三崎町1-4-16	03-3291-3824
桜丘中学高等学校	品田 健先生
東京都北区滝野川1-51-12	03-3910-6161
聖徳大学附属中高等学校	川並 芳純先生
千葉県松戸市秋山600	047-392-8111
麹町学園女子中高等学校	伊藤 暁先生
東京都千代田区麹町3-8	03-3263-3014
春日部共栄中学	宇野 禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213	048-737-7611
大成高等学校	森 保先生
東京都三鷹市上連雀6-7-5	0422-43-3196
東京学園高等学校	須藤 勉先生
東京都目黒区下目黒6-12-25	03-3711-6641
東京立正中学高等学校	藤井 教戒先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15	03-3312-1111
八雲学園中学高等学校	横山 孝治先生
東京都目黒区八雲 2-14-1	03-3717-1196
関東第一高等学校	副田 康孝先生
東京都江戸川区松島2-10-11	03-3653-1541
武蔵野中学高等学校	丹野 秀彦先生
東京都北区西ヶ原4-56-20	03-3910-0151
神田女学園中学高等学校	齋藤 元治先生
東京都千代田区猿楽町2-3-6	03-3291-2447
和洋国府台女子中学高等学校	太田 陽太郎先生
千葉県市川市国分4-20-1	047-371-1120
東京文化中学高等学校	上前 善勝先生
東京都中野区本町6-38-1	03-3381-0196
文京学院大学女子中学高等学校	水上 茂先生
東京都文京区本駒込6-18-3	03-3946-5301
京北学園中学高等学校	実方 隆志先生
東京都文京区白山5-28-25	03-3941-6253
大森学園高等学校	河嶋 正先生
東京都大田区大森3-2-12	03-3762-7336

東京成徳大学中学高等学校	増澤 文徳先生
東京都北区豊島8-26-9	03-3911-2786
日本工業大学駒場中学高等学校	河村 文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130
青稜中学高等学校	多々良 昭典先生
東京都品川区二葉1-6-6	03-3782-1502
東京女子学園	実吉 幹夫先生
東京都港区芝4-1-30	03-3451-6523
駒込中学高等学校	河合 孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25	03-3828-4141
爱国中学高等学校	高橋 英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1	03-3658-4111
日本橋女学館中学高等学校	羽田野 敦先生
東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6	03-3662-2507
安田学園中学高等学校	福谷 隆芳先生
東京都墨田区横綱2-2-25	03-3624-2666
多摩大学目黒中学高等学校	福本 明男先生
東京都目黒区下目黒4-10-24	03-3714-2661
科学技術学園高等学校	高塚 聡先生
東京都世田谷区成城1-11-1	03-5494-7711
日本音楽高等学校	中野 道代先生
東京都品川区豊町2-16-12	03-3786-1711
立正中学高等学校	今田 正利先生
東京都品川区大崎4-2-16	03-3492-4416
上野学園中学高等学校	高橋 公美子先生
東京都台東区東上野4-24-12	03-3842-1021
二松学舎大学付属高等学校	木村 誠次先生
東京都千代田区九段南2-1-32	03-3261-9288
村田女子高等学校	武 雅祐先生
村田学園小石川女子中学校	
東京都文京区本駒込2-29-1	03-5940-4187
(株)パイロットコーポレーション	辻 豊様
東京都中央区京橋2-6-21	03-3538-3782
(株)教育企画ティーファイブ	山田 孝幸様
東京都品川区北品川1-22-17-104	03-5479-7061
(株)創開コミュニティー	小林 和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202	04-7164-6511
ギガビジョン株式会社	櫻井 淳二様
東京都千代田区九段北1-4-5	03-3237-5861